

と き と り 桃 花 鳥

佐渡市立新穂小学校



ホームページ <http://niibo-es.sado.ed.jp>
E-mail niibo-es@sado.ed.jp

第 3 7 9 号
平成 2 8 年 5 月 2 0 日

「本気」で取り組む子どもを目指して

校長 香遠 正浩

13名の新生を迎え、全校97名の平成28年度がスタートして2か月が経とうとしています。うれしいことに、どの学年も学校を休む子どもがほとんどいません。毎日元気に登校しています。昨年度に比べ、校門をくぐる時刻が早くなっています。集団登校に間に合わず、遅れて来る子どもはいません。どの子どもも毎日、学校生活を楽しみに登校しているものと思います。

97名の中に教室に入れない子どもはいません。授業中に立ち歩いたり、教室から飛び出す子どももいません。どの教室も、朝から午後まで毎時間、落ち着いて学習しています。このような日々の学習の積み重ねで、子どもは徐々にではありますが、着実に学力を高め、成長していきます。

このような緩やかな成長とは別に、あることを契機に集団全体が急激に変容することがあります。それは、運動会のように練習や準備を重ねて臨む学校行事です。「競技や応援で勝ちたい」、「いい演技を披露したい」という強い思いをもって本気で取り組み、その努力が報われたとき、それが大きな自信に変わります。運動会にはそのようなパワーがあります。

スローガンを決める児童会の代表委員会では、各学年の思いを生かすためにキーワードを盛り込むことになりました。その結果、「本気100倍 ファイトだ！ もえろ赤 かがやけ白 トキっ子97名」という長い文言となりました。

その後、今日までの2週間、運動会に向けた種目練習を重ねてきました。加えて、休み時間も応援練習に一生懸命取り組んでいました。特にリーダーとなる応援団は本当に頑張っていました。

子どもを本気にさせるのは教師の役目です。当校の職員は、毎時間の各教科の指導に加え、応援やトランペット鼓隊の指導でも子どもに寄り添い、励まし続けてきました。トラックのライン引きなどは、子どものいない早朝や夕方にしてきていました。一人一人が自分の役割を果たすとともに、チームとしても協力して取り組む職員集団です。運動会では、チームウェアの青いポロシャツを着て子どもたちの頑張りを支えます。

PTA奉仕作業できれいに整備していただいたグラウンドで、「本気100倍」を発揮する子どもたちの姿をご覧ください。

